

今回のジオパーク通信では、爆発 70 周年を迎えた昭和山についてご紹介します。

1943 (昭和 18) 年の冬、洞爺湖温泉で地震が起こりはじめました。震源は少しずつ移動していき、壮瞥の東九萬坪地区の畑で、1944 (昭和 19) 年 6 月に最初の大爆発が起こります。

この年の 7 月には火口から火砕サージが発生し、洞爺湖に流れ込みました。火砕サージに巻き込まれた湖畔の原生林や家屋は、なぎ倒されたり、幹や葉が焼けて枯れてしまいました。

現在、湖畔でみられる植林されたトドマツ並木は、この時被害にあった原生林のあとに植えられたものです。



火砕サージのあとに植えられた湖畔のトドマツ並木



もともと平らだった麦畑は、十数回の爆発をくり返し、隆起を続けましたが、最初の爆発から約 1 年で成長が止まり、407mの昭和山となりました。

最初の爆発から、今年でちょうど 70 年。昭和山は温度の低下とともに標高が低くなり、現在は 398mになりましたが、「変動する大地」の魅力を物語る見どころのひとつとして、今も多くの人を惹きつけています。

催し案内

『箱根ジオパーク&洞爺湖有珠山ジオパーク紹介展』 開催中！

温泉、湖、ロープウェイ、活火山…と、洞爺湖有珠山地域と共通点の多い、神奈川県箱根町。金太郎のゆかりの地「金時山」や「芦ノ湖」「大涌谷」などの火山由来の見どころの他、東海道きっての難所として知られた箱根山中に設けられた「箱根関所」など、歴史的見どころも多い地域で、2012 年に近隣の小田原市、真鶴町、湯河原町とともに「箱根ジオパーク」となりました。

今年、箱根町と洞爺湖町が姉妹町提携 50 周年を迎えることから、洞爺湖町主催の特別展が開催されています。ぜひご来場ください。



芦ノ湖から見える富士山。洞爺湖から見える羊蹄山にそっくり？

- ★ 開催期間 7月26日～10月15日まで
9:00～17:00
- ★ 開催場所 北海道洞爺湖サミット記念館
(洞爺湖観光情報センター3階)
入場無料